

経費支弁書

様 本
Example

日本国法務大臣 殿

学生氏名 ミン
Student's Name _____
生年月日 1988年10月10日
Date of Birth _____

国籍 ミャンマー
Nationality _____
現在 22 歳 (男Male / 女Femal)

私は、この度、上記のものが日本国へ入国した場合の経費支弁者になりましたので、下記のとおり経費支弁の引受け経緯を説明するとともに、経費支弁について誓約します。

記

1 経費支弁の引受け経緯

(申請者の経費の支弁を引受けた経緯及び申請者との関係について具体的に記載)

私は申請人××の父親です。彼は日本へ留学することを心から強く望んでおり、私は父親として、その意志を精神的にも経済的にも支持しております。私は息子の選択が正しいと信じております。私の収入も安定しており、家庭で負担しないその他の事情もありませんので、留学中の一切の費用を負担し、彼が安心して学習できるよう支援することを決心しております。

2 経費支弁内容

私 ムン は、上記の者の日本国滞在について、下記のとおり経費支弁することを誓約します。

また、上記の者が在留期間更新許可申請を行う際には、送金証明書又は本人名義の預金通帳（送金事実、経費支弁事実が記載されたもの）の写し等で、生活費などの支弁事実を明らかにする書類を提出します。

(1) 学 費 年額： 600,000 円

(2) 生活費 月額： 80,000 円

3 支弁方法（送金・振込み等支弁方法を具体的にお書き下さい。）

在留資格が認定された後、まず一年間の学費と宿泊費(光熱費含む)を学校に指定された口座へ振り込みます。また、息子が来日する際に半年分の生活費を持参させます。半年後、更に必要な生活費等を本人の日本の銀行口座に振り込みます。

作成年月日： 2011年5月1日

経費支弁者

自宅住所 ××県××市××町×丁目×番地×号

電話番号： 0000-000-0000

勤務先名 株式会社×××

電話番号： 0000-000-0000

勤務先住所： ××県××市××町×丁目×番地×号

署名： ムン

続柄： 父

留学資金調達書

様 本
Example

申請者 : ミン
経費支弁者 : ムン
作成年月日 : 2015年10月1日

調達方法

- ・ 過去の収入と貯金
 ・ 親戚の支援
 ・ 不動産
 ・ その他の固定資産
 ・ 投資などの収入
 ・ その他

詳しい状況

私は申請人ミンの父親のムンです。息子は幼いときから勤勉で、勉学に励んでおり、今日本留学に向かって必死に努力しております。私は息子の意見に賛成し、全力で彼を支援したいと思っており、日本で学習し生活するのに十分な資金を援助することができます。

資金の内訳は以下のとおりです。

私は1984年に××会社に就職しました。その後1993年に貿易会社の××会社へ転職しました。2002年にはその貿易会社の主任になり、収入が増えました。同年5月には同貿易会社の経理担当を任せられ、私の給料は約×万円になりました。

現在、2008年、私は××会社で課長として働いています。月収は約××万円で、ボーナスは年×回です。よって年収は××万円になります。毎月約×万円貯金し、現在預金残高が約×万円あります。このうちの×万円を私の息子の日本への留学費用に充てます。

以下は私が大金を銀行から引き出した際又は預け入れた際の説明です。

- 2002年8月に車購入のため、200万円を引き出しました。
- 2004年4月に娘の大学入学のため、100万円を引き出しました。

以上